



ICT活用場面



準備するもの

教員用タブレット 一人一台 Wi-Fi環境推奨
Google Jamboard

インターネットの利用

有

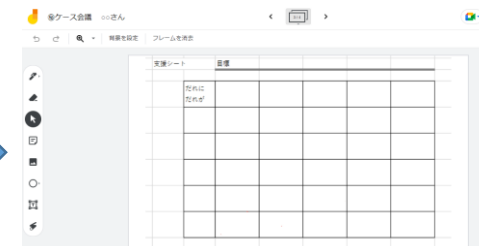
ICT活用のメリット

- ・ケース会議を開きながら、参加者複数名で支援策を同時編集することができ、会議後のまとめ作成業務が軽減されます。
- ・縦軸の「誰が」と横軸の「誰に」というシンプルな表を作成することで、支援が見える化し、担任にのみ負担が集中しないよう整理することができます。
- ・話し合い結果のまとめ、その後の情報共有を同時進行で行い、どうすべきかを決められるので、ケース会議後に即支援をスタートさせることができます。

活用の手順

1. スプレッドシートなどで表を作成し、Jamboardの背景に貼る。

支援シート	目標
だれに だれが	



2. 担当者は、付箋を作成しておく。

縦軸：支援を行う者（担任、教頭、教務、養護教諭など）
横軸：支援を受ける者（児童生徒、保護者）

支援シート	目標	〇〇が安心して楽しい学校生活を送れる 指導役を分担
12月19日	だれに だれが	Aさん 母親
教科指導 指導		
B教諭		
教頭		
C教諭		
D教諭		



支援シート	目標	〇〇が安心して楽しい学校生活を送れる 指導役を分担
12月19日	だれに だれが	Aさん 母親
教科指導 指導	指導の様子 タブレット ニターズを 共有	母親の様子 本人の困 り感を共有
B教諭	Aのワット ニュースを 把握	横にワット ニュースを 伝える
教頭	Aへの指導 は、主として 行う	
C教諭		
D教諭		

3. 話し合いをしながら、支援策を付箋に書き込んでいく。
時間を決めて30分で会議を終える。

教師のふりかえり

- ・情報が見える化して、どうすべきかを決めて、役割分担も明確になるので、その後のチーム支援につながりやすい。
- ・担当者や学級担任の負担が減り、会議を開きやすくなる。